

第 9 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和元年9月18日（水）

開催時間 午前 10 時 00 分から午前 10 時 40 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 市川 満
教育長職務代理者 武者 稚枝子
教育長職務代理者 三塚 憲二
委員 佐藤 喜美子、岡部 和子

出席職員 教育次長 斉木 邦彦
教育監 青柳 達也
学力向上対策監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小田切三男 高校教育課 人事管理監 小林 智
福利給与課長 小尾 一仁
学校施設課長 後藤 宏
義務教育課長 中込 司
高校教育課長 廣瀬 浩次
高校改革・特別支援教育課長 本田 晴彦
社会教育課長 保坂 哲也
スポーツ健康課長 丸山 正雄
学術文化財課長 村松 久
総務課総括課長補佐 小泉 治明
政策企画監（総務課課長補佐） 清水 康邦
総務課課長補佐 小林 宏行
総務課課長補佐 入倉 俊幸
総務課副主査 渡邊 勲

傍聴人 0 名

報道 0 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

加藤委員から都合により会議を欠席する旨の届け出がございました。
議案第34号「職員の処分について」、議案第35号「山梨県文学館協議会委員の委嘱・任命」については、共に個人情報に関する案件である旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

- 議案
第34号 職員の処分について
〔説明〕 高校教育課
(非公開)

【原案どおり決定】

第 35 号 山梨県文学館協議委員の委嘱・任命について

〔説明〕 学術文化財課
(非公開)

【原案どおり決定】

2 その他報告

- (16) 「令和2年度採用山梨県公立学校教員選考検査」について
〔説明〕 義務教育課

市川教育長 説明について、質問、意見等は。

佐藤委員 受検人数が減っているということで、幾つかの対策というのを教えていただきたい。

中込課長 今年度から小中で第2志望制度を作った。そして大学推薦の制度を作り、県内の四大学から推薦をしていただいている。加えて、年齢を39才から49才に上げた。1割程度は40才以上の方が確保できてるので、成果は上がっていると思っている。その中でも年齢を上げることで、他県で正規教員をやっている方が受検しているの、効果がある。
特に、養護教諭が遠隔の県から15名中3名程度、現職が受検しており、その時期に山梨県で採用がなかったの、再度受け直していることは承知している。
今後、県立図書館で山梨で教員になろうという、教員の良さとか、魅力を伝える活動を進めていくということがある。あとこの年度末から来年度受ける3年生を対象に、大学を回り、いわゆるリクルート活動を進めていきたい。

武者委員 大学推薦の方だったり、現職でやっている方だったり、教員免許も持っていないながら他の職業についての方で、教員を目指して他県から来たというような、ユニークな経歴の方たちを面接した。倍率は低かったが、少なくとも私が面接をした方は、素晴らしくて、優秀だったなというイメージを持っている。だから倍率だけで、この年度の先生は優秀でないと保護者の方が思わないような、不安をかき立てることがないような形で伝えてほしい。
また、今年から大学推薦、再任用を増やしているということなので、その推移をみていただき、大学推薦や再任用の効果が出ない場合には、柔軟に変更するなど、とりあえず人数だけを充足するのではなく、大学推薦でない方、経験のある方との違いはあるのかを見ていただきたい。

佐藤委員 受検人数は減ったけれど、本当に教員になりたいという人たちが集まっている気がした。採用した人材がしっかりと育てていただきたい。

岡部委員 給食センターは少なくなったが、期間採用で栄養教諭を採用しているのか。

中込課長 いわゆる産休、育休の代替として期間採用はいる。欠員による期間採用は1名のみ。余り絞りすぎると統合された時に定員を超過してしまう恐れがあるので、計画的に採用する必要があると考えている。

【了知】

〔教育長閉会宣言〕

以上